

2023年12月25日(月)

令和5年度 全国科学館連携協議会 中四国ブロック会議 報告書

徳島県立あすたむらんど子ども科学館
科学館部 後藤 利貴

日時	2023年12月21日(木) 12:50~17:00 および 12月22日(金) 9:30~12:30
会場	川崎医科大学現代医学教育博物館(岡山県倉敷市松島577) 岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア(岡山県岡山市北区伊島町3丁目1番1号)
参加者	1日目 加盟館 12名(8館) 2日目 加盟館 13名(8館)
目的	全国科学館連携協議会規約に基づき、その目的に沿った事業の円滑な運営を図ると共に、本会議加盟館相互の交流を深め、地域の特性を生かした事業に取り組むことにより、中四国の科学普及向上に寄与することを目的とする。
内容	12月21日(木) 会場:川崎医科大学現代医学教育博物館 ① 開会 開会あいさつ 川崎医科大学現代医学教育博物館 副館長 森谷 卓也 氏 ② 報告 各館情報交換 各館による入館者数の状況、特別展開催結果などの報告を行った。 【出雲科学館】 ・昨年度開館20周年を迎えた。 ・出雲市内の全小学校3年生から中学校3年生までの理科の授業の一部3時間分を科学館内で行っている。 ・通常年間15~16万人の来場者数で推移していたが、コロナ禍で6~7万人に減少。昨年度は9万人まで回復。今年度は12月時点、6万人程度でコロナ禍前の水準には回復していない。 ・企画展は年間4回開催。毎年夏は「世界の甲虫展」を実施。館で所有している甲虫の標本約2000点を展示。6月にバイオミメティクス展、10月は岩石展を実施し、3月は出雲市の科学技術をテーマに実施予定。 【愛媛県総合科学博物館】 ・自然系博物館、科学技術を紹介するコーナー、愛媛の産業を紹介するコーナーと3つテーマで構成された総合科学博物館である。 ・来年開館30周年を迎え、11月に累計来館600万人のセレモニーを実施。 ・年間入館者数は20万人程度であるが、コロナ中は半減、昨年17万人、今年はそれを上回る入館に回復している。 ・企画展は学芸員の専門の研究を一般の方に紹介する発表の場であり、年に3回実施している。 ・年1回特別展を実施。昨年は万華鏡展を実施し好評であったが、今年は昆虫展を行い、昨年を上回る入場者数であった。72日間開催し、入場者数は4万人を超えた。

内容

【川崎医科大学現代医学教育博物館】

- ・令和5年度入館者数はコロナ前の5割程度。
- ・宮崎科学技術館の企画展へ展示物貸し出しを行った。
- ・近隣施設との連携
公民館を会場にオンライン講座（臓器エプロン）を実施。
小学校を会場にキャリア教育として、医療の仕事体験を実施。

【岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア】

- ・今年の7月からサイピア横の公演の遊具が使用禁止および喫茶店が廃業になり、その後来館者数が減少している。
- ・ジオラマ展が老若男女に人気であった。参加された障がい者施設の方より、ボタンを押すだけで体験できると喜ばれた。
- ・岡山淡水魚研究科主催で企画展「おかやまアユモドキ水族館」を実施。オリジナル缶バッジを制作。生体展示に苦労した。
- ・星景写真展を実施し、その後企画展に連動して講座「星景写真の作り方」を実施予定。
- ・プラネタリウムで生き物の専門家による外部講師とプラネタリウム職員が掛け合いで解説後、星座に関連した自然体験講座を実施し、好評であった。

【高知みらい科学館】

- ・入館者数だけで事業を評価されるのではなく、館外活動の利用者も含めた総利用者数も評価の指標としている。
- ・期間展示「高知の魚のものづくり」にて高知の企業を紹介。
- ・企画展「高知の川をカガクする」川の生き物と川がつくる地形について紹介
小型のサンショウウオを生体展示。小中学生の自由研究も展示した。
- ・期間展示「高知の石灰ともものづくり」にて石灰石を使った産業を紹介。

【鳥取市こども科学館】

- ・こども科学館は展示よりもワークショップを主に実施している。
- ・企画展は恐竜の樂園をテーマに、気候変動に伴う環境の変化やその生態について紹介した。
- ・宇宙の写真展をさじアストロパークより写真を賃借して実施。
- ・日本きのこセンターより講師を招いて、きのこ観察を行うフィールドワークショップを実施。
- ・アウトリーチ事業として図書館、児童館、教育支援施設などでサイエンスショーを実施。

【防府市青少年科学館】

- ・今年開館25周年でホームページを更新。リーフレットなど統一ロゴも作成。
- ・企画展「食品サンプル展」大阪の企業の協力により実施。
単にサンプルを展示するのではなく、観光協会ともタイアップして、本物の食器などを使用し、完成度の高い展示となった。医療技術にも食品サンプルの技術が使われていることも紹介。リピーターも多く、北海道から沖縄、海外からも来館があった。視覚障がいの方、食物アレルギーの方が食品サンプルに触れることができ、喜ばれていた。

<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「はかるがわかる展」 自分の身体ではかるなど、体験型の展示が多く、滞在時間が長い企画展となった。 ・「星座展」連携協の巡回展示に星景写真や星座3Dアートを追加して開催。 ・「走る鉄道模型展」職員個人所有の模型を展示 ・第1回やまぐちU15アイデア作品・研究コンテストを市長発案により実施。県内中学生理科部に光を当てたいとの趣旨で実施。最優秀賞は東京の科学館などに招待し、バックヤードツアーを見学予定。 <p>【徳島県立あすたむらんど子ども科学館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月に累計入園者数1000万人達成式典を実施 ・入館者数はコロナ前の水準までには回復していない。 ・企画展「鉄道模型展」「どうぶつ原寸大図鑑展」「デジタルアート展」を実施 ・女子中高生の理系進路選択支援プログラムをJSTの助成により実施し、講演会や実験教室を開催した。 <p>③ ワークショップ事例紹介</p> <p>講師：岡山県自然保護センター 藤田 卓也 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たたき染めでオリジナルトートバックづくり ・木刀づくり <p>④ 各館ワークショップ情報共有</p> <p>加盟館各館によるワークショップメニューの事例紹介、見本の提供を行った。</p> <p>【高知みらい科学館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見える？見えない？光のマジック（光の全反射） ・ふしぎな立体をつくろう（テンセグリティ） <p>【愛媛県総合科学博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスショー「うんちをつくろう！～消化の仕組みを学ぶ～」 <p>【出雲市科学館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランス工作 つなわたりやじろべえをつくろう ・つくってとばそう ペーパーグライダー <p>【川崎医科大学現代医学教育博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴診器工作 <p>【徳島県立あすたむらんど子ども科学館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーキリング ・マリンチャーム ・アイスクリームバスボム <p>⑤ 提案議題「常設展示充実の手立て」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示に関する資料紹介（高知みらい科学館） <ul style="list-style-type: none"> 書籍「協働する博物館」 ユニバーサルデザインについて記載 書籍「博物館情報学シリーズ ミュージアム展示と情報発信」 高知みらい科学館の展示に対する考え方を記載 モバイルミュージアム用展示物の製作 他館へ貸出可能
-----------	--

内容

- ・常設展示の更新について（岡山県自然保護センター）
常設展の故障展示を撤去し、特別展を長期に実施する。
クラウドファンディングによる常設展示の更新費用獲得を検討。
- ・リニューアル構想の作成（愛媛県総合科学博物館）
他館視察も行い、展示更新に向けたリニューアル構想を作成している。
- ・外部有識者会議の実施（徳島県立あすたむらんど子ども科学館）
県の担当課も含めた、会議を年2回実施し、展示更新の必要性を訴え、様々な専門家の方々と議論する機会を設けている。

⑥ 施設見学「川際医科大学現代医学教育博物館」

12月22日(金) 会場：岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア

⑦ ワークショップ体験

- ・まつぼっくりつりいづくり
- ・海のシーグラスでアクセサリー作り～海の豊かさを学ぼう～

⑧ 施設見学「人と科学の未来館サイピア プラネタリウム」

- ・星空生解説番組「ほしぞらタイム」
テーマ「“いとをかし” な和（わ・なごみ）プラ」

記録写真



開会あいさつ



ワークショップ事例紹介



施設見学



施設見学



ワークショップ事例紹介



演示実験視察